

事業提案書に関する評価視点

| 事業提案項目    |             | 提案の観点   | 評価視点   |
|-----------|-------------|---|--|
| 様式<br>6-1 | 事業計画        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の基本的なコンセプト</li> <li>・SPCの安定的な運営に関する考え方</li> <li>・リスク管理の考え方</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市の課題を前提とした事業方針やコンセプト（省エネなど）となっているか。</li> <li>・長期収支計画や財務リスクへの対応策は明確か。</li> <li>・本事業の特徴を踏まえたリスク管理となっているか。</li> </ul>   |
| 様式<br>6-2 | 事業実施体制      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・代表企業と統括マネジメント業務の考え方</li> <li>・設計・建設段階の実施体制</li> <li>・維持管理段階の実施体制</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業期間を通じて適切にマネジメントする体制が整っているか。</li> <li>・品質を確保できる各工種の役割分担は明確か。</li> <li>・安定的かつ継続的な運転・保全管理が実施できる体制か。</li> </ul>  |
| 様式<br>6-3 | セルフモニタリング計画 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・SPC構成企業の監視体制</li> <li>・セルフモニタリングの考え方</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・SPCが行うセルフモニタリングの体制、方法、時期、頻度などは明確か。</li> <li>・セルフモニタリングの判断基準や、市への報告方法は具体的かつ有効か。</li> </ul>  |
| 様式<br>6-4 | 地域貢献        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業における地元（神戸市内）業者の活用方針</li> <li>・地域又は神戸経済に対する貢献の取り組み</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元企業の役割や業務内容が地域経済の活性化に配慮されているか。</li> </ul>   |
| 様式<br>6-5 | 設計プロセス      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・詳細設計内容のセルフチェックの考え方</li> <li>・市への報告・確認プロセスを効率化するための工夫</li> <li>・設計人員の配置計画</li> </ul>                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容に不備がないかセルフチェックできる仕組みとなっているか</li> <li>・互いの業務負荷が低減できるような、市との設計協議の方法、時期、頻度となっているか。</li> </ul>   |
| 様式<br>6-6 | 処理プロセス設計    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・原水水質変動への対応の考え方</li> <li>・設備故障等の緊急時における処理能力確保の考え方</li> <li>・水位差を利用した浄水処理フローの考え方</li> <li>・省エネに配慮した浄水処理フローの考え方</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・濁度上昇時の水質を確保するための工夫がなされているか。</li> <li>・クリプトスポリジウム対策への工夫がなされているか。</li> <li>・緊急時（設備故障、想定すべき危機事象等）に対して、対応可能な処理プロセスになっているか。</li> <li>・処理過程で上水水質基準を超過した場合の、緊急停止の方法及び緊急排水の方法について。</li> <li>・将来の原水水質の変化などを視野に入れた設計思想となっているか。</li> <li>・エネルギーに無駄がない処理フローとなっているか。</li> </ul> |
| 様式<br>6-7 | 土木・建築構造物設計  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・設定水位、構造物の配置、場内配管等に対する設計の考え方</li> <li>・管理動線、維持管理性における工夫</li> <li>・ライフサイクルコストの低減に配慮した構造物設計の考え方</li> </ul>                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・上水施設事業エリアの地形を考慮した効率的な設計となっているか。</li> <li>・確実な水質検査が可能な配置計画となっているか。</li> <li>・維持管理作業、見学者へ配慮されているか。</li> </ul>  |
| 様式<br>6-8 | 機械設備設計      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・設備構成、機器仕様の基本的な考え方</li> <li>・設備構成、機器仕様における長寿命化（管路等の耐久性、部品交換の容易さ、部分的な更新の容易さ等）への配慮</li> <li>・設備・機器の維持管理性を高める工夫</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各浄水過程で確実な処理が実現できる構成となっているか。</li> <li>・安定的な浄水処理が期待でき、省エネなどに配慮した具体的な工夫はあるか。</li> <li>・新型インフルエンザの蔓延を見据えた薬品貯蔵に関する工夫はあるか。</li> </ul>  |

| 事業提案項目     |           | 提案の観点  | 評価視点  |
|------------|-----------|--|---|
| 様式<br>6-9  | 電気・計装設備設計 | <ul style="list-style-type: none"> <li>安定した電力供給実現のため受変電設備及び停電対策設備の考え方</li> <li>設備故障時等の緊急時における性能確保の考え方</li> <li>計装設備、通信設備の設計における長寿命化（15年間大規模修繕を実施しないための工夫や事業終了後2年間、施設状態を維持する工夫）への配慮</li> <li>監視操作内容</li> <li>監視制御システムの拡張性とセキュリティ対策</li> <li>監視制御における維持管理性を高めるための工夫</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>非常時においても自立運転が行える方法や、早期に電力を確保するためのバックアップ方法などの工夫があるか。</li> <li>既設システムおよび他システムとも接続できる汎用性があるか。</li> <li>水質異常を早期に確保できる設備配置が適切か？</li> <li>バイオ・警報がすぐ出るか？</li> </ul> |
| 様式<br>6-10 | 建設工事計画    | <ul style="list-style-type: none"> <li>工期を遵守するための工程管理方法</li> <li>工事工程を踏まえた仮設計画</li> <li>工事における安全管理</li> <li>試運転計画と実施内容</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>複数工事同時発生時期における工事間の調整方法は適切か。</li> <li>試運転において、水張り手順、排水方法、水質試験など、上水施設としての品質が確保できる具体的な計画となっているか。</li> </ul>   |
| 様式<br>6-11 | 工事監理方法    | <ul style="list-style-type: none"> <li>工事監理の基本的な考え方</li> <li>工事監理体制（適切な人員配置と市への報告方法）</li> <li>品質管理方法</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>SPCを中心としたグループ全体で、適切な工事監理が実施できる方針が示されているか。</li> <li>有資格者の配置や工事監理情報の市への適切な報告体制、内容となっているか。</li> </ul>   |
| 様式<br>6-12 | 周辺環境への配慮  | <ul style="list-style-type: none"> <li>搬出入車両の管理方法</li> <li>騒音、振動、粉じん等による周辺環境への影響の低減方法</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>周辺への影響を最小限にするための工夫が示されているか。</li> </ul>   |
| 様式<br>6-13 | 新技術の採用    | <ul style="list-style-type: none"> <li>新技術の採用方針</li> <li>過度な維持管理費（事業期間中・事業期間終了後以降）にならないことに配慮した新技術の導入</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>新技術の採用による定性的、定量的評価は具体的に示されているか。</li> </ul>   |
| 様式<br>6-14 | 運転管理計画    | <ul style="list-style-type: none"> <li>運転管理における目標設定</li> <li>運転管理における人員体制</li> <li>配置人員の実績、有資格者の配置等</li> <li>人員の育成・教育方法</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>カビ臭発生頻度を踏まえた効率的な運転管理方法が示されているか。</li> <li>水質管理における自主基準、指標は設定されているか。</li> <li>有効な運転管理の行える人員体制か。</li> <li>15年間の期間を見据えた効率的な育成、教育方法となっているか。</li> </ul>            |
| 様式<br>6-15 | 保全管理計画    | <ul style="list-style-type: none"> <li>保守点検の実施内容及び頻度の考え方</li> <li>修繕業務における長寿命化への配慮</li> <li>電気計装設備を大規模修繕なしで機能維持するための方法</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>実施内容、時期、頻度の設定根拠は明確か。</li> <li>施設機能維持が明確に図れる管理方法となっているか。</li> <li>保守点検、修繕計画が事業終了後も踏まえた具体的なものとなっているか。</li> </ul>   |
| 様式<br>6-16 | 水質管理計画    | <ul style="list-style-type: none"> <li>通常時の水質管理の考え方</li> <li>急激な水質変動への対応</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>原水水質の特徴に基づいた管理のポイントが抽出されているか。</li> <li>水質悪化時の対応手順、市との連絡体制について具体的に示されているか。</li> <li>水質異常を早期に感知するシステムになっているか。</li> </ul>                                       |

| 事業提案項目     |                    | 提案の観点   | 評価視点  |
|------------|--------------------|---|---|
| 様式<br>6-17 | 災害・事故時の対応          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害・事故時の対応方針</li> <li>・過去の経験に基づいた災害・事故時の具体的な対応策</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業の特徴的なリスクを適切に把握し、その対応策は適切な内容となっているか。</li> </ul>                 |
| 様式<br>6-18 | 事業終了時の<br>引き継ぎ業務   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業終了時の引継ぎ業務の実施体制</li> <li>・業務内容における確実な技術継承への配慮</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の引継ぎを円滑かつ確実にを行うための工夫が具体的に示されているか。</li> </ul>                    |
| 様式<br>6-19 | その他、創意工夫に<br>関する事項 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市の業務負担軽減</li> <li>・市と共同での人材育成策（危機管理訓練・新人研修等）</li> <li>・当該施設を活用した市と SPC による共同研究の可能性に関する提案</li> <li>・その他、運転管理業務に係る創意工夫</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・創意工夫が、SPC と市にとって有効的な提案（浄水汚泥の再利用、広域的な連携による効率的な提案等）はあるか。</li> </ul> |